

同志社大学社会福祉学会

実践研究プロジェクト 2015 年度企画のご案内

エピソード記述の魅力と可能性

- 日時：2016年**2月14**日（日）13：30～16：30【参加無料】
- 場所：同志社大学今出川キャンパス良心館1F 101教室
- 内容：「この人の生きる場面を、いきいきと描きたい」——エピソード記述はそんな思いから生み出された方法論です。たとえば相手の気持ちが伝わってきた瞬間や、自分とは異なる他者との出会いによって自分にとっての「当たり前」が揺らいだ経験など、人と人が接する援助の実践はさまざまな感情を伴う「気づき」に満ちています。そうした「気づき」をエピソードをとおして記述することは、そのことがもうすでに研究のはじまりであるというのが、エピソード記述のスタンスです。この企画では、普段書いているケース記録や報告書とは少し違う「エピソード記述」を、参加者の皆さんと一緒に体験したいと思います。

1. プレゼンテーション【森口弘美】

「エピソード記述の魅力と可能性—フィールドでの『気づき』が研究になるまで」

2. グループディスカッション【森口弘美、市瀬晶子】

実践者や実習生が書いたエピソード記述を読み合い、また参加者それぞれの実践をとおした「気づき」のエピソードについて語り合うことで、それぞれの実践を言語化し伝える（＝研究につなげる）糸口を探りたいと考えています。

- 担当：森口弘美（本学社会福祉学科助教）、市瀬晶子（関西学院大学人間福祉学部助教）、木原活信（本学社会福祉学科教授）

- 参加申し込み・問い合わせ

準備の都合がありますので、参加希望の場合はお名前と所属をご連絡ください。

森口弘美 moriguchi1916@gmail.com

主催：同志社大学社会福祉学会

後援：同志社大学社会福祉研究・教育支援センター 定例カンファレンス